

円筒はにわの作り方



① ねんどをこねる

② ねんどをころがしてひもをつくり、そのねんどひもを輪にする。ゆびでおさえながらつなぎ目をならし、あつみを整える。

③ ②の上に再びねんどひもをのせ、つなぎめをゆびでおさえてならず。この作業をくり返しなが少しずつ高くし、あつみを整える。

④ 風通しの良い日かげで乾燥させた後、はにわを焼く。



⑤ 細いひもでつくった突帯をはりつけ、すかしあなをあける。



⑥ 木の板で表面をなでて平らにする。

4世紀のはにわは、たき火の中に入れて焼く「野焼き」で焼かれてたけど、5世紀になったら、はにわ専用の窯で焼かれるようになってん!

下の写真ははにわの、どの部分かな? 展示品をよくみて考えよう。わかったら、下にはにわの名前を書いて、はにわ図鑑に○をつけよう。

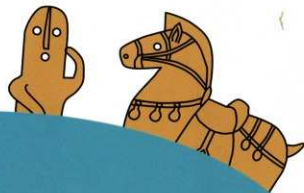


(はにわ)



(はにわ)

こども版



平成 30 年度夏季特別展

奈良市のはにわ

奈良市埋蔵文化財調査センター

「はにわ」は、3～6世紀に土を高く積んで造られたお墓(古墳)に立てならべられた土製の焼物です。古墳の中に人や悪いものはいってこないようにしたり、死者をあの世へ送るまつりのようすを表すために、古墳のまわりに列をなして立てならべられました。

はにわは大量に作る必要があったため、専門の工人によって作られました。奈良市菅原町には、はにわ作りを行っていた土師氏が住んでいて、発掘調査ではにわを焼いた窯の跡がみつかります。また、市内の発掘調査でもさまざまな種類のはにわがみつかっています。

はにわが出土した遺跡にいきましょう!

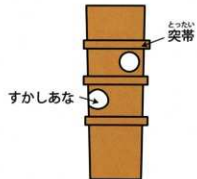


杉山古墳と復元されたはにわ
(奈良市大安寺四丁目、近鉄奈良駅または JR 奈良駅
からバスで「大安寺」下車、西へ600m)



菅原にはにわ窯公園
(奈良市横領町 403 番地の 2 ほか、近鉄「大和西大寺」
駅南口から南へ徒歩 15 分)





えんとう
円筒はにわ
はにわの中で最も多い。
外側に数段の突帯があり、
円形や長方形のすかしあな
がある。



あさがおがた
朝顔形はにわ
円筒はにわの上の部分
が朝顔の形のようにひらいた
はにわ。台の上につぼを
のせた形が変化した。

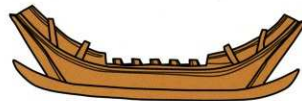


きりぎりすづくり
切妻造
本をふせたような形の屋根

よせねづくり
寄棟造
台形の屋根

いりむねづくり
入母屋造
よせね、きりぎりす、
寄棟と切妻が上下に重なった形の屋根

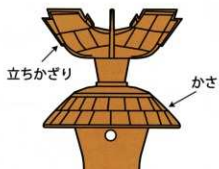
家形はにわ
住居や倉庫などの建物の形をしたはにわ。屋根の形のちがいで
入母屋造、寄棟造、切妻造の三つに大きくわけられる。



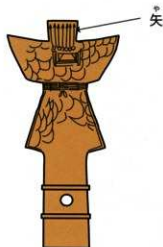
船形はにわ
古墳時代には一本の木をくりぬいて
作った船に板を取り付けて作った船
が使われていた。オールをおく突起
が表現されている。



●**にわり形はにわ**
オスとメスがある。とさかが
大きいのがオス。



●**きめがさ形はにわ**
身分の高い人にさしかける
かさの形をしている。
権力があることのシンボル
として立てられている。



●**ゆぎ形はにわ**
矢をいれて背中させおう
「ゆぎ」という筒の形を
したはにわ。



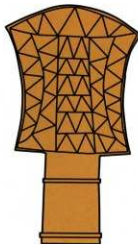
いしばがた
●**石見形はにわ**
何を表したはにわがよくわかっ
ておらず、色々な説がある。



●**かっちゅう形はにわ**
武人の頭や体を守るかぶと、
上半身を守るたんこう、下半身
を守るくさずりを表している。



●**さく形はにわ**
場を区画するさくとして
立てられたはにわ。



●**たて形はにわ**
刃物や弓矢などから身を守る
ための武具である「たて」の
形をしたはにわ。

ずかん

はにわ図鑑

はにわには、「円筒はにわ」と「形象はにわ」があります。形象はにわは、家形はにわ、器財はにわ（たて・ゆぎ・かっちゅう・きめがさ・いすなど）、船形はにわ、動物はにわ（馬・しか・いのしし・鳥など）、人物はにわ（巫女・武人など）に分けられます。

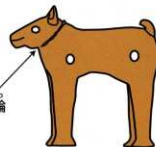
●は器財はにわ、●は動物はにわ



●**馬形はにわ**
馬は4世紀の終わりごろに日本列島
にもたらされた。馬形はにわの多く
は背中に鞍（人を乗せる部分）をのせ、
むねやおしりにかざりをつけている。



●**水鳥形はにわ**
ハクチョウやカモなどの水鳥
の形をしたはにわ。



●**犬形はにわ**
犬は首輪をつけているもの
が多い。犬は獲をする手助
けをするので縄文時代から
飼いられていた。



人物はにわ
人の形をしたはにわで、男性と女性がある。武人や
巫女、楽器の奏者などいろいろな種類のものがあり、
当時の人の服装や髪型、仕事などを知ることができる。
古墳時代のはじめにはなく、中ごろになって出現する。



●**いのしし形はにわ**
いのししやしかの肉は食料だったので、
弓矢などを使って狩りが行われた。